





































横山省三 業績の概要

嘉永二年（一八四九）四月、醤油醸造の名門横山家に生まれ、少年時代は大阪で醤油販売業を営む伯父のもとで、昼は商業見習、夜は学業に励んだ。

省三の公共心は伯父によって涵養され、生涯を龍野醤油業界発展に尽くした。

元治元年（一八六四）十五歳の時、父が病気で倒れたため帰龍、家業を継いだ。

明治元年（一八六八）明治維新とともに龍野藩の保護奨励策がなくなり、業者間の自由競争が激化し、粗製乱売で業界は混乱、信用は失墜し地域経済破綻の兆しが見え始めた。

明治七年（一八七四）二十五歳で醤油醸造をやめ、産地の名誉挽回と発展の為、献身することを決意する。

明治九年（一八七六）龍野地区同業者を説得し、龍野醤油造元仲間という組織を結成、二十七歳の若さで組長に選任された。

明治十三年（一八八〇）仲間組織を龍野醤油醸造組合と改称し、組長に選ばれる。

明治二十年（一八八九）摂東、摂西両郡の同業者を結集して、組合を龍野醤油醸造同業組合に改める。組長に選任され、五年間研究して考案の製麹法を公開する。

明治二十五年（一八九二）全国醤油醸造家大会を大阪で開会。選ばれて会長となる。その後も全国同業者組織として存続。毎年全国各地で大会を開催し、業界発展に寄与した。

明治三十二年（一八九九）重要輸出品同業組合法に基づき、組織を改正して龍野醤油醸造同業組合を設立。

試験場を設置し醤油の品質改善などに取組んだ。

明治四十三年（一九一〇）五月二十五日、永眠した。
三十五年間組長であった。忙しい組合活動の中で、龍野町学務委員、摂保郡議会議員、兵庫県議会議員など地域の政治にも参画、活躍した。

